
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 1月2日～1月8日

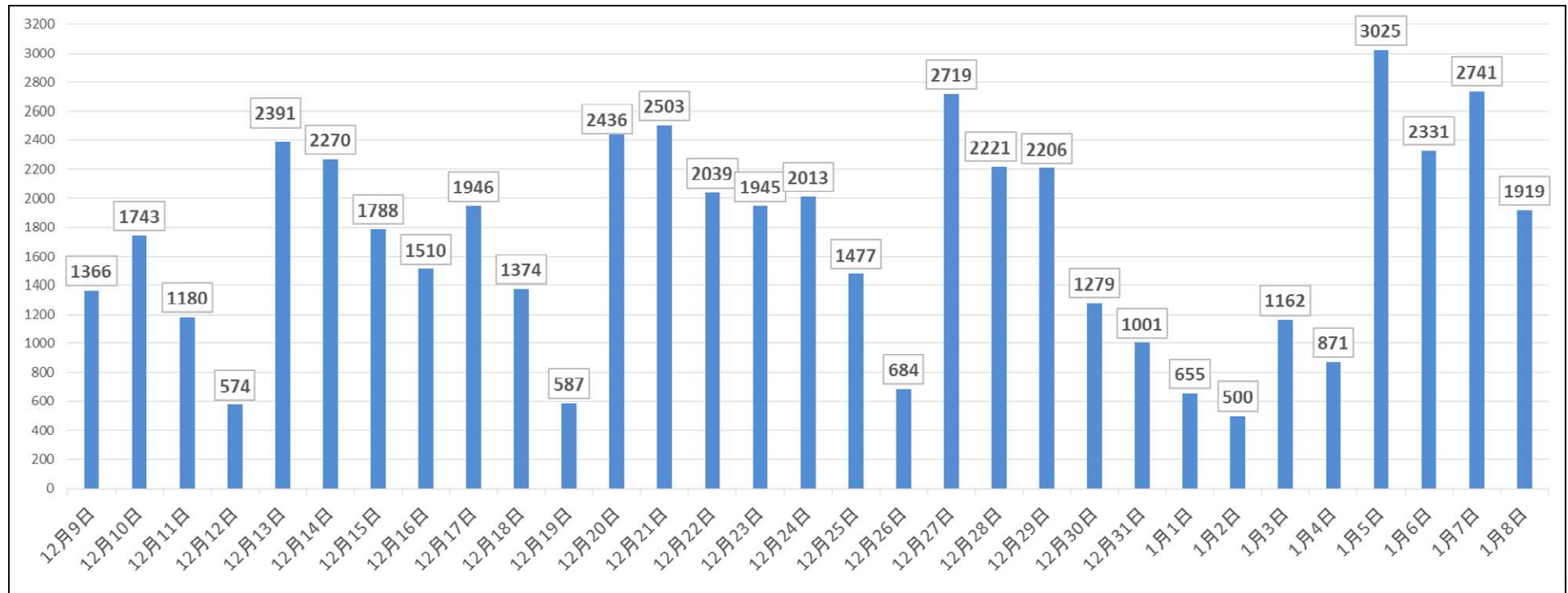
1月10日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

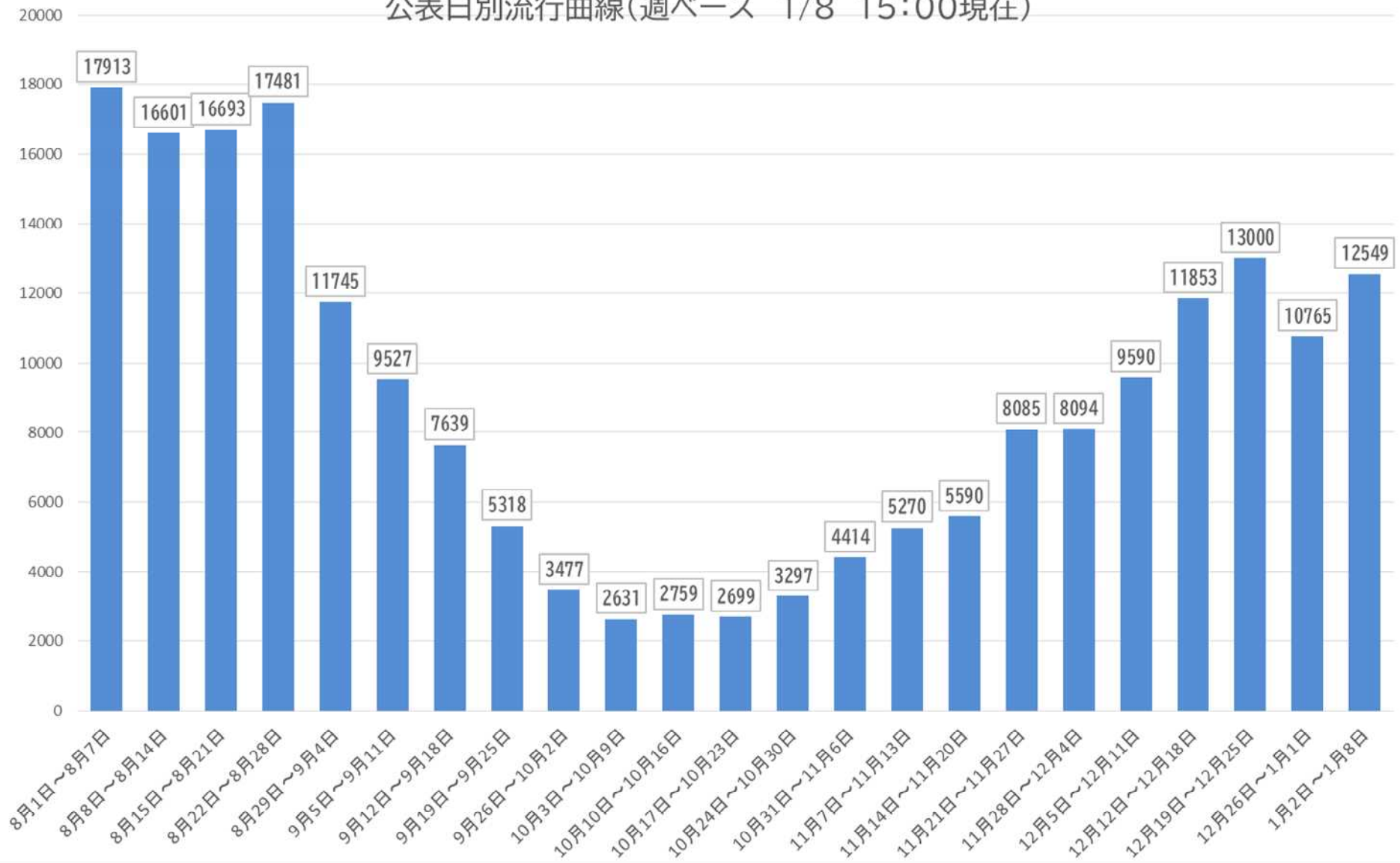
1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(1/2~1/8)	12,549人
累計(1/8現在)	335,037人

2) 公表日別感染動向(1/8現在)



公表日別流行曲線(週ベース 1/8 15:00現在)



3)医療圏別の陽性者発生状況(1/8現在)

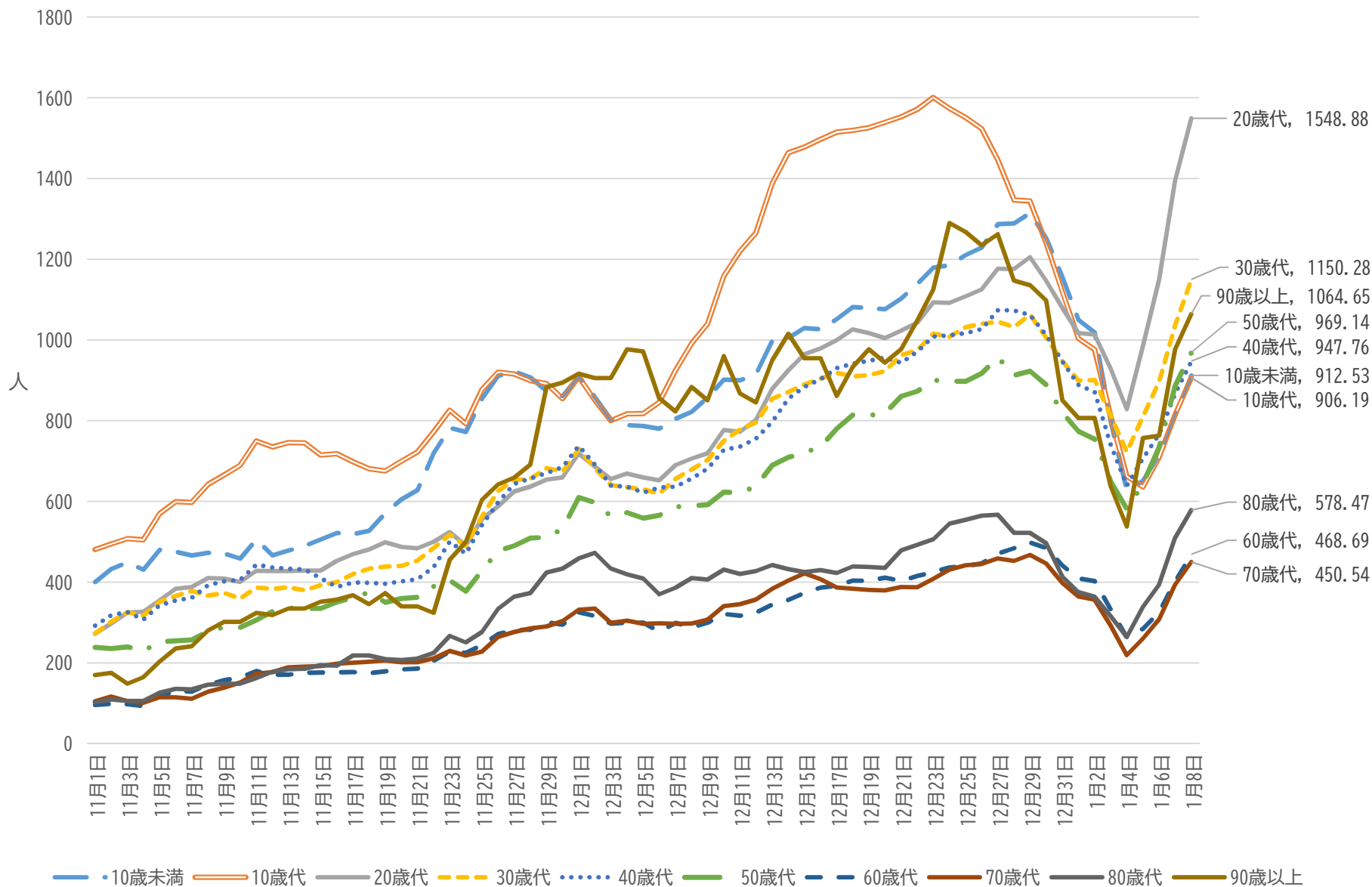
※報告医療機関の所在地別集計であり、実際の患者の居所と一致しない場合があります。

	大津 (大津市)	草津 (草津市・守山市・ 栗東市・野洲市)	甲賀 (甲賀市・湖南市)	東近江 (東近江市・近江 八幡市・日野町・ 竜王町)	彦根 (彦根市・愛荘町・ 豊郷町・甲良町・ 多賀町)	長浜 (長浜市・米原市)	高島 (高島市)	陽性者 登録センター	合計
1月2日	15	100	15	18	1	48	4	299	500
1月3日	72	103	27	286	182	69	0	423	1,162
1月4日	60	104	0	30	114	73	0	490	871
1月5日	367	543	268	447	293	322	174	611	3,025
1月6日	507	458	140	261	155	210	47	553	2,331
1月7日	470	558	228	410	260	241	49	525	2,741
1月8日	448	324	114	250	121	140	29	493	1,919
合計	1,939	2,190	792	1,702	1,126	1,103	303	3,394	12,549

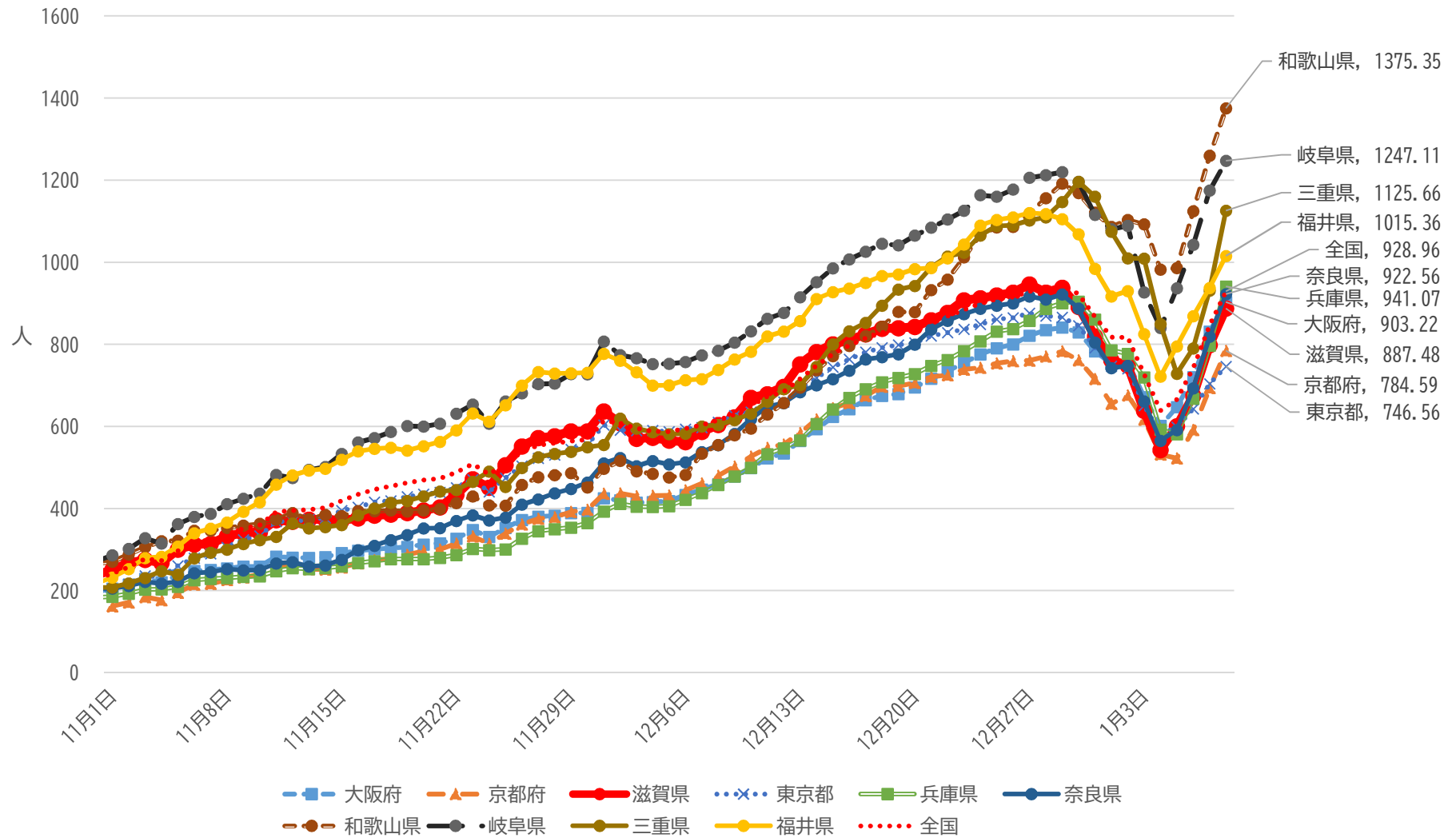


4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.11/1 - R5.1/8)



5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.11/1-R5.1/8)



2、県内の感染状況・各指標の状況について(1/8現在)

1)県内の病床数および宿泊療養施設の状況

病床数	入院者数			空床数
		県内発生	その他	
501	408	387	21	93

宿泊療養 部屋数	療養者数			その他	空数
		県内発生	県外発生		
518	82	82	0	46	390

2)県内の陽性者発生状況

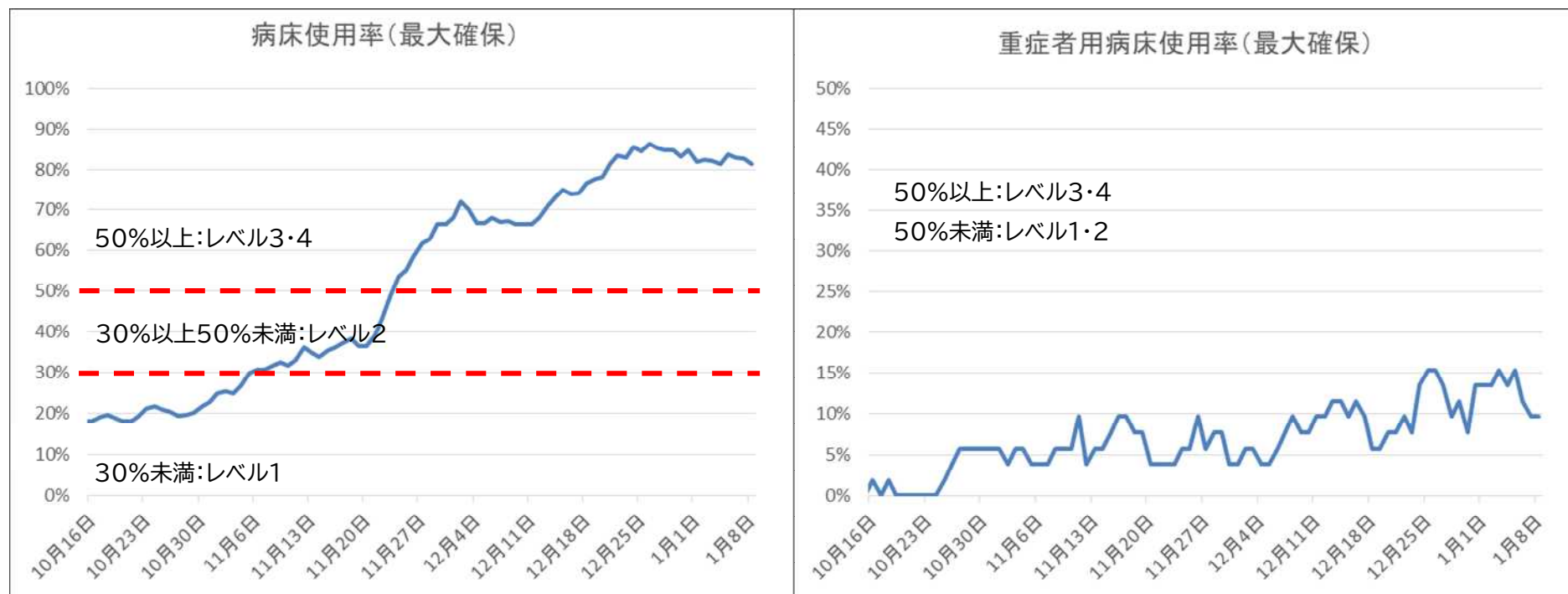
陽性者累計	入院患者 (県内発生)				死亡
		軽症	中等症	重症	
335,037	387	270	112	5	511

重症:ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式膜型人工肺)が必要
 中等症:酸素投与が必要

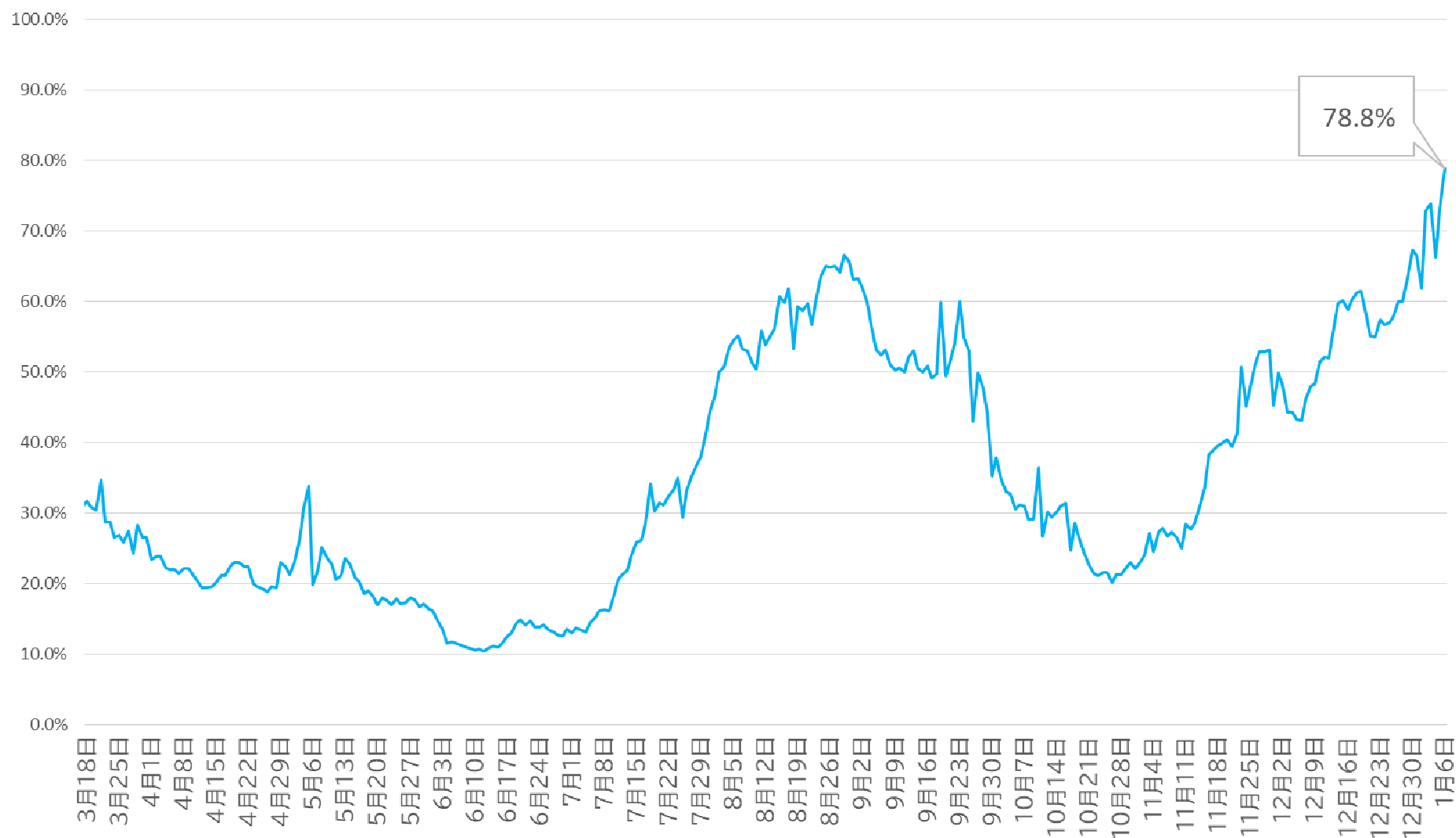
3)各指標の状況

現時点の確保病床の占有率※1	81.4%	※1 現時点の確保病床の数、501床に対する割合
最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※2	81.4%	※2 ピーク時に確保予定である病床数、501床に対する割合
うち重症者用病床の最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※3	9.6%	※3 ピーク時に確保予定である病床数、52床に対する割合
直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	887.5人	
直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※4	多い	※4 直近一週間の陽性者数が先週一週間に比較し多いか少ないか記載
直近1週間のPCR等陽性率※5	78.8%	※5 報告受領件数(抗原検査を含む)に基づく陽性率(自己検査・無料検査は含まない。)
	PCR等検査数(直近1週間分)	12,115件
	PCR検査数(累計)	1,189,305件

4)各レベル判断指標の推移

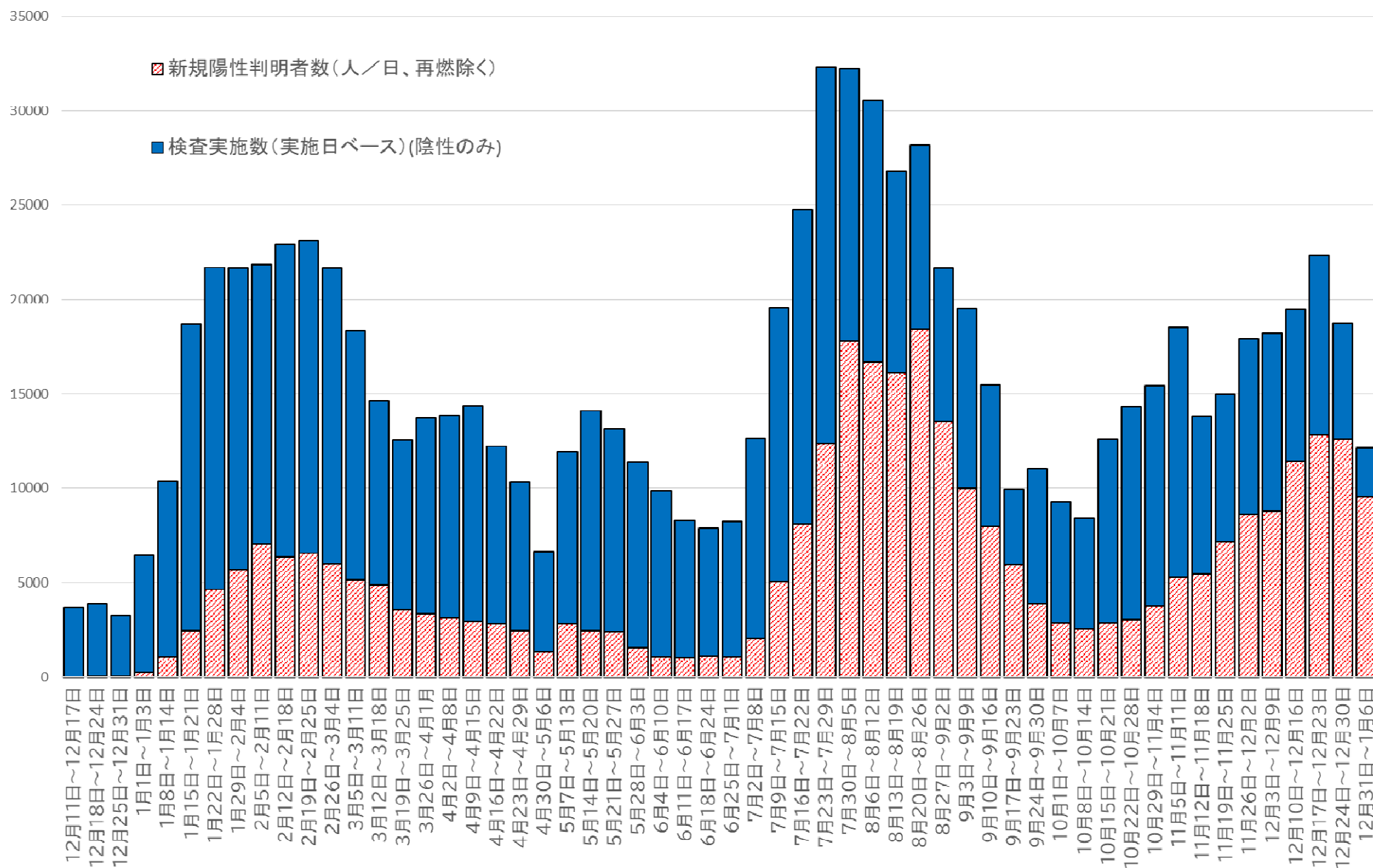


5)陽性率の推移(7日間移動平均)



陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、1月6日現在の陽性率は78.8%でした。※検査実施日ごとの報告件数（抗原検査を含む）に基づく陽性率

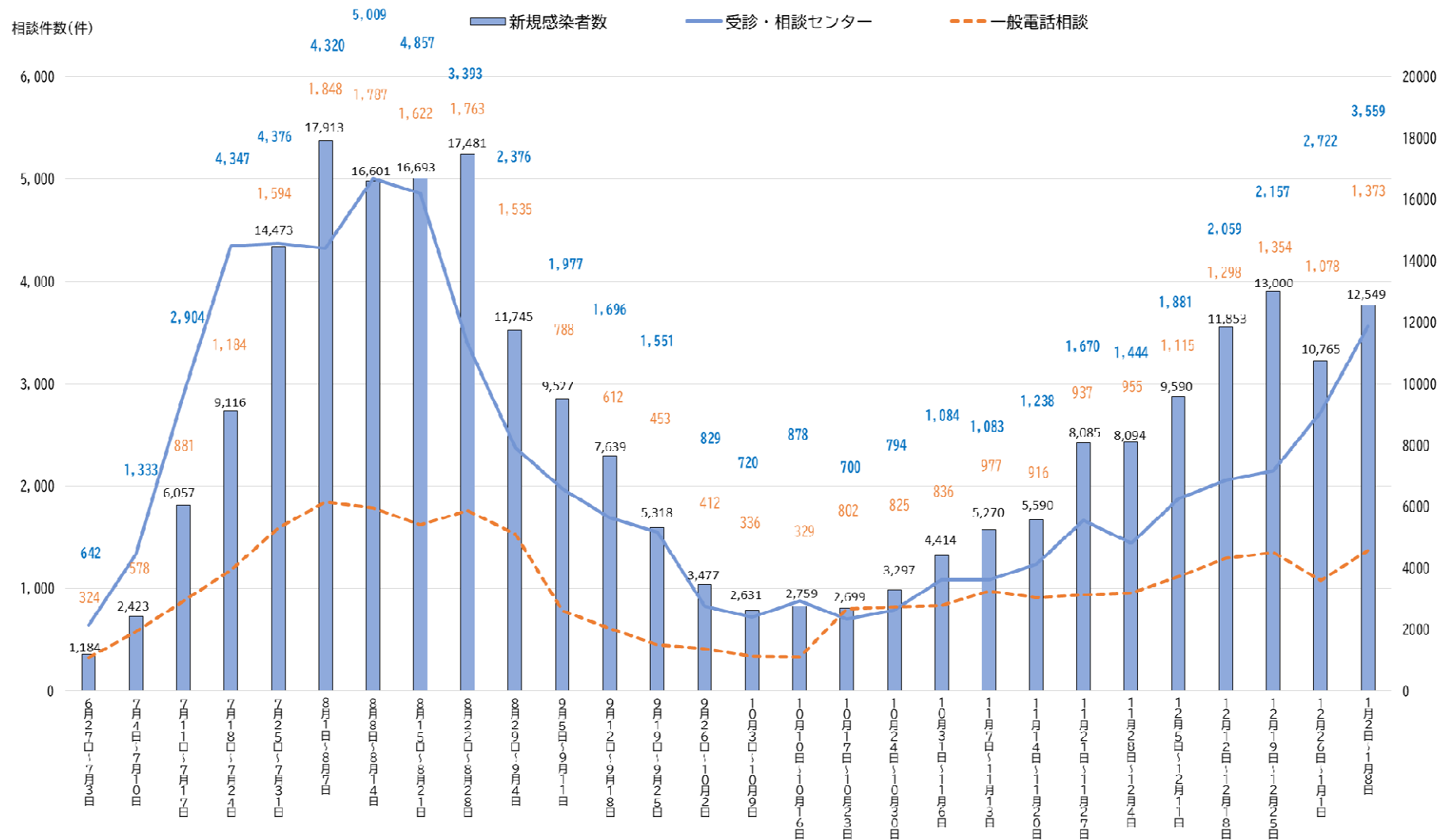
6)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



7) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)



評価(1/2~1/8の感染状況)

- 全国の新規陽性者数は、全国的に年末年始の医療機関の休診等の影響による減少後、減少前の状況に戻ってきています。また、複数の地域で一日あたりの過去最多の新規陽性者数が確認されています。
- 本県でも1月8日時点で今週先週比は1.17、直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は887.5で年末年始の医療機関の休診等による減少がありましたが、その前に近い状況になってきています。年代別でも、年末年始に減少したものの、減少前と同等の水準になってきています。今後、学校の再開による10歳代、10歳未満の動向に注意が必要です。
- 最大確保病床に対する占有率は1月8日時点で81.4%と以前高い水準で推移しています。重症病床の占有率は9.6%と10%前後で推移しています。
- 年末年始にかけて人との接触場面が多くなったため、更なる医療のひっ迫を招く恐れがあります。改めて、場面に応じたマスク着用、換気、手指消毒など基本的な感染対策は継続してお願いします。
- 高齢者施設等で継続して感染者が報告されています。換気が十分でない場合が多く、寒い時期で常時換気が難しいところですが、居室でのケア時や食事時など、人が密になる場面で特に気を付けて換気をお願いします。医療・介護サービスを安全かつ継続的に提供するため、また職員自身の健康を守るため、感染対策の知識を習得しそれを実践しましょう。
- 令和5年1月16日まで「年末年始ワクチン接種促進強化期間」です。ワクチンの効果は徐々に減弱するので、オミクロン株対応ワクチンを接種していない方は、この期間にもう1回のワクチン接種を検討してください。インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。
- インフルエンザとの同時流行が懸念されています。本県の第52週(12/26~1/1)のインフルエンザ定点医療機関当たりの報告数は0.97と流行期入り間近となっています。全国平均でも2を上回ってきており、今後の動向に注視が必要です。